



ほけんだより 5月

2024 年度 No.2
しのめ並木保育園

新緑の眩しい季節になりました。戸外活動が増えるこの時期は、身体がこれから迎える梅雨や夏の準備期間となります。体調も崩しやすくなるので、早めの対策を心掛けていきたいですね。

【4月の健康状況 4/1~4/25現在】

感染症は溶連菌感染症が2名、ヒトメタニューモウイルス感染症が1名。季節の変わり目や花粉により咳や鼻水が出ていたり、お腹の風邪をひくお子さんがみられました。通院は、階段で転倒し脳外科受診1名（大事にはいたりませんでした。）肘内障で1名です。



紫外線



春先は紫外線が急に強くなります。日焼けによるダメージが心配されますが、子どもにとって戸外で元気いっぱい体を動かして自然と触れ合うことは、心身の発達にとっても大切なことです。適切な紫外線対策をとっていきましょう。

日焼け止めクリームを使用する場合は、家庭にてに保護者の方が塗ってくださるよう、お願いします。保育園でのお預かりはしていません。ただし、日光アレルギー等のある場合は、医師による意見書と共に薬をお預かりします。

- ① 外出時間を配慮する(10時~14時は最も紫外線が強い)
- ② 日陰を利用する
- ③ 日傘を使う、つばの広い帽子をかぶる
- ④ 衣服で覆う(長袖の着用)
- ⑤ 日焼け止め(子ども用)クリームを利用する



救急法について教えて頂きました



4月20日(土)幸浦消防署の署長さんによる救急法の講習がありました。横浜市には救急隊が85隊あり、一日600~700件の対応を担っているそうです。(真夏は1000件を超えるそうです。)救急車を呼んでも40分待ちもあり、金沢区の救急車が鶴見区まで応援に行くことも...そのためにも定期的に救急法を学ぶ機会がとても大切になるそうです。

誰がやるの?と躊躇してしまうのではなく、「勇気」をもって、行うことが大切です。

AEDは、使い方を音声で説明してくれるので、わからなくても使用でき、指示に従い、心臓マッサージ(酸素を脳に送る)を行い、救急隊を待ちます。(AEDのパットは貼る位置【大人】が書いてありますが、お子さんは心臓を挟むようにつけるといいそうです。

*お子さんに多いのは窒息だそうです。意識のある時は、背部投打法、胸部突き上げ法。意識がない時は心肺蘇生をしながら救急車を待ちます。

目の前で起こって欲しくはありませんが、いざという時に備えて定期的に学んでいきたいと思えます。

横浜市のホームページ

【急病時のご相談、救急医療機関のご案内】より

#7119

または ☎045-232-7119

救急受診できる病院、いますぐ受診?救急車?の電話相談がきます。

5/29(水)尿検査(幼児クラス)

詳しいことは後日お知らせします。



《変更》

5/21(火)の前期歯科健診は6/4(火)に

6/3(火)の前期内科健診は6/7(金)に

変更となります。